

# ひよし社協

日吉地区社会福祉協議会

第68号

発行日 令和6年9月1日  
発行 会長 青 博 孝  
編集 日吉地区社会福祉協議会  
☎ 090-2733-0461  
印刷 有限会社 創文社

## 就任のご挨拶

日吉地区社会福祉協議会 副会長 佐相茂樹



今年度より日吉地区社会福祉協議会副会長を仰せつかりました佐相茂樹と申します。生まれ育ったこの町への恩返し、そして地域の社会福祉の為に微力ではございますが、お役に立つよう努めていく所存でございます。

少子高齢化が問題となつてからかなりの年月が経ちました。日吉地域においては大規模マンションに伴う若い世帯の増加や、学生人口も多く、一見心配のないように思われているかもしれませんが、しかしながら近年では隣近所との関係性・世代間交流は確実に薄まっております。核家族化も進み、一人暮らしの高齢者や社会的に孤立している方々、そして経済的に困窮している世帯等は確実に増加しています。

社会福祉協議会の目的は「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」です。行政および港北区社会福祉協議会と連携し、地域の絆が強まるよう日々取り組んでまいります。

「日吉に住んで良かった」と思われるまちづくりを目指して…

もちろんその活動は地域の皆様のご理解・ご協力によって成り立っています。各自自治会町内会・民生委員児童委員・福祉関係施設・各種ボランティア団体の方々には、日頃からの活動に敬意を表するとともに感謝申し上げます。

日吉地区社協の運営は皆さま方の善意によって支えられています。「賛助会費」および「年末たすけあい募金」をご負担いただいている皆様に厚く御礼申し上げます。諸物価高騰の折まことに心苦しい次第ではございますが趣旨ご理解の上、今後ともご支援を賜りたくお願い申し上げます。

日吉地区社協のスローガン「光と活力に満ちあふれる日吉」の目的達成のため、尽力していくことをお約束して就任のご挨拶いたします。今後ともご指導・ご協力の程、重ねてお願い申し上げます。

## 新任のご挨拶

日吉本町地域ケアプラザ 所長 鈴木 本 勝



残暑の候、皆さまにおかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は横浜市日吉本町地域ケアプラザにご協力・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。この4月に10年選手だった前所長から交代しまして、早くも4カ月が経過いたしました。あつという間に時間だけが過ぎていますが、日々、新たな学びの繰り返しでございます。地域の皆さまには、できるだけご迷惑にならないようにと励んでいくつもりでございますが、ご不便やご心配をおかけすることも多々あるかと思えます。少し自分のことを書かせていただきます。

介護保険制度が平成12年4月から始まったわけですが、私が福祉の世界に飛び込んだのは、その前夜である平成11年12月のことでした。当時は、「来年の4月から介護保険というものが始まるらしい」と「国の制度が変わるらしいけど一体

どう変わるのだろうか？」と、ややぼやけた雰囲気の中で、高齢者が今後増加していくこと、それに伴って介護が必要な方や認知症（平成16年からこの呼び名となり、当時はまだ痴呆症と呼ばれていました）の患者の方が増えていくこと等が予想され、介護の仕事がいわゆる「これからの仕事」と言われていた風潮がありました。

私は福祉のことが右も左もわかっていませんでしたが、当時暮らしていた実家がかじる程度ではあります。祖父の介護を手伝っていた経験もあり、何となくやってみようという思いから介護の仕事を始め、気がついたらもうすぐ四半世紀が経とうとしています。

この日吉地区ではとてもエネルギーシユで笑顔が素敵なお会いできることも多く、また「子育てにも熱心な」家庭が多いと感じます。あらゆる世代の地域の皆さまにとって、身近な窓口としてお役に立てるよう努めてまいります。

## 『ふくふくスタンプラリー』開催決定!!

令和7年1月26日(日)日吉地区全域にて昨年引き続き『ふくふくスタンプラリー』を開催します。詳しくは9月以降の各地区ホームページをご覧ください。たくさんの方の参加をお待ちしています。

## 『日吉地区社会福祉協議会 令和6年度定例総会』開催

令和6年5月26日(日)、『日吉地区社会福祉協議会 令和6年度定例総会』が5年ぶりに日吉地区センターにて開催されました。 ※今総会を以て14年に渡り務められた片野芳昭会長が退任され、新たに青博孝氏が会長に就任されました。



と思います。

なお、コロナ禍が明けて昨年復活した秋の秋桜まつりを今年も10月に開催予定です。お楽しみにしてください。今後ともよろしくお願いたします。

## ア・ラ・カ・ル・ト

### 日吉台西中学校 演劇部

関東大会金賞を獲得し、令和6年8月23日山口県下関市にて開催される全国大会に出場決定！ また、この夏の地区大会でも最優秀賞を獲得し、県大会への出場決定！



日吉台西中学校演劇部の皆さん

## 日吉地区社協助成金事業

### まいまい子ども食堂

下田町(お好み焼きまいまい)で毎月第一火曜日17時〜20時まで開催されるまいまい子ども食堂さんを取材させていただきました。

「ここで子ども食堂やらなあーい？」の声をきっかけに「いいね！子どもたちの笑顔のために、やろう！」と快諾してくれたのが店主の野崎さん、子どもたちのためならと地域の方々からの野菜等々の提供があり、大盛況で百人以上の参加がある時など居酒屋の店舗の一部を貸してくれるご近所さん、開催日には東急バスもお店の前を気をつけて走行してくれるとか、地域全体で盛り上げていこうという気持ちがいっぱい詰まった(まいまい子ども食堂)でした。 今後、多くの子もたちが、多くの人と楽しく食事をしながら笑顔になつたらいいです！」と素敵な笑顔で話してくださいましたスタッフと店主の野崎さんでした。





### 日吉二丁目公園 花の会 活動中

日吉地区民児協 板垣 文男

所在地は日吉二丁目26・10東横線脇518平方メートルの小さな公園です。

四季折々の草花の手入れを中心に毎週火曜日の午前中がみんなの集まる定例活動日です。毎日の水やりは当番制になっています。写真は猛暑の中での新しい苗木を花壇に植え付け、メンテナンス作業(草むしり)を行っています。花を愛でる優しい面々も年々、歳を重ねても頑張っています。若い世代への引継ぎ、園芸だけに接ぎ木する気持ちで公園を守って行ければと奮闘中です。



日吉親和会 花の会



植物、土いじりが好きだ、ちよつと一緒にやってみてみたい貴方、火曜日の朝9時頃に公園でお会いしましょう。

若手戦力募集中!

### 新しい試みく若い世代との交流

箕輪地区民児協 吉村 桃子

日頃民生委員は、高齢者、幼・小児童とは触れ合う機会がありますが、中・高の生徒さんとは接点がありません。そんな中、「この日は、リアルな中学生の姿が見られますよ」と、日吉台中学校の副校長からお声を掛けて頂いて、日吉本町東地区の民児協の方々と夏休み直前の暑い日に見学に伺いました。



「この日」とは、「大掃除」の日でした。どのクラスもテキパキと机と椅子を廊下に出し、広くなった教室をドアの棧の埃、換気扇の羽根に至るまできれいに磨き上げていました。コロナ後、日吉台中学校では自分の出したゴミは自分で持っていくので、教室には、ゴミ箱が置いてないそうです。E.C.Oの生きた実践ですね。



先生方、生徒さんのエネルギーギッシユな姿に圧倒されながら私達も元気を頂いた見学会でした。

### 矢上小でのボッチャ体験会

日吉宮前地区民児協 山科 礼子

「今年はバリオリンピックの年!、小学生にもボッチャを体験してほしいですね」の思いに「やってみよう!」と声を上げてくれたのが矢上小の子どもたちと担任の先生でした。

当日、子どもたちに「ボッチャ知ってますか?」に「はい!」と、え?勉強してくれたの?、「新聞紙でボールを作って練習しました!」と、楽しみにしてくれていたのが嬉しい反応でした。暑い日で皆が汗びっしょり、それでも一生懸命何度もゲームをし、最後には見学に来ていた保護者と先生も交え初めてのボッチャを楽しんでくれました。



後日、授業参観で体験した感想や投げ方の作戦を発表してくれ、地域の私たちに感謝の言葉もくれました。感激いっぱいです。さあ!、次は子どもたちとボッチャ大会やりますよ! ワクワクしますね。

### 盲導犬の里 富士ハーネスを訪ねて

日吉本町西地区民児協 石井 康夫

一月末コロナ禍後、久しぶりの日吉地区社協主催の見学研修会!富士山を真近に望む富士宮市にある日本盲導犬協会の総合訓練施設を日吉六地区34名の参加者で訪れました。

施設では訓練士の方とデビュー間もない盲導犬のグロリー君が出迎えてくれ、障害物を避けたり階段前での停止等様々なデモンストレーションを披露してくれました。盲導犬の重要な役割は①曲がり角②障害物③段差等を教えるの3つです。訓練を経て盲導犬としてデビュー出来るのは40%弱とのこと。犬と歩く人は目的地までの道順を自分の頭の中に描きウエイト、カム、グッド等の指示を犬に装着したハーネスを介して行ないますが、慣れてない場所ではとても不安です。



# 日吉地区社会福祉協議会の活動

## シルバーリーの会

下田地区民児協 長谷 昭子

下田地区ではシニア単身世帯の皆様方の交流の場として年に数回お食事会や茶和会を催しています。今回の茶話会は民生委員の中で実際に海外生活を体験した二名が本人達の写してきたスライド写真を使って活きた真話、こぼれ話を披露しました。一名は中国に返還された後の変化真つ只中の香港生活を市場の様子からメディアの変化等まで旅だけでは見ることがない内側からの視点で興味深く楽しく中国衣装で語ってくれました。もう一名はなかなか訪れる事が難しかったイスラム教と石油の国サウジアラビアの様子を日本との関係からラクダまでアラビアコーヒーの試飲もしながらこちらの中東衣装で語りました。どちらにも皆様から好奇心溢れる沢山の質問が出てミニ世界旅行が出来たと大好評でした。この会の名はシルバーリーの会。由来のシルバーリーフは数多くの種類がありその美しさは園芸愛好家達にも大変人気だそうです。



## ブルーグラス・カントリーの歌声

日吉本町西地区民児協 鈴木 房代

第三回「お達者かいのつどい」を6月に参加者50名で開催しました。

前半は「災害時の携帯トイレの使い方」の講習会、講師に防災アドバイザー・宮田由枝さんを招き、備えのポイント(家族構成、備蓄日数、暑さ対応衣類、チェックリスト等)の説明を聞き、携帯トイレを使ったグループ実習で多くの質問が飛び交いました。講師が着用するチョッキからはドラえもん、ポケッタさながらに防災必須アイテムが続々と出てきて、びっくり!とても有益な講習でした。

後半は高校生でバンドを結成し、80歳代の今も練習を欠かさないという「ブルーグラス・ランプラズ」のバンジョーの小海老沢さんとマンドリンの海野さんによるカントリーの演奏をたくさん聴き、「おじいさんの古時計」を皆で大きな声で合唱!アンコールの嵐となり、楽しかったわ!との多くの声が次への大きな励みとなりました。



## 刺激を受けた施設見学会くゆう杉並

日吉本町東地区 主任児童委員 田口 貴美

「中高生優先の児童館」であり「中高生の主体的な活動」を行っている、杉並区児童青少年センター『ゆう杉並』は、大人になっていく子どもたちに何かを伝えたいという思いで提供される魅力的な場所でした。

主任児童委員の活動において、小さい子に目がいきがちで、中高生の居場所についての発想が希薄だったことにハッとさせられました。親とは違う大人との会話、友人と過ごせる場所、そしてやりたいことが見つけられる居場所があったら、思春期から大人へと成長する過程で何かが変わる可能性が生まれるのではと期待が膨らむと同時に近くに欲しいと強く感じました。区長から委嘱された中高生からなる運営委員会と職員を中心に企画運営され、利用者の方の意見も反映されています。職員の方も楽しそうに説明してくださる姿にも魅力を感じました。中高生の気持ちもキャッチし柔軟に橋渡ししていかれるような活動ができればいいなと刺激を受けた見学会でした。



## 令和6年度 港北区社協賛助会員募集

みなさまからの賛助会費は日吉地区社協の活動に役立てています。賛助会活動にご理解ご協力をお願いいたします。

今年度は8月1日、賛助会費 一口2,000円

◎地区社協活動の財源となりますのでご協力ください。

## 編集後記

パリ五輪の汗から涙に変わる。あの感動は覚めやまず、暑い夏はまだまだ続くのでしょうか?油断すると短い秋が通り過ぎてしまいます。何でも良い身体を動かす健康習慣をつくりましょう。

(編集委員) ◎山科・足立(真)・石井・石川・板垣・田中・河内・鈴木 ©印は編集長